

## 会長挨拶

明治大学教育会 田中 徹太郎

本日は第18回教育会総会に、ご多用にもかかわらずご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

現在の国際情勢はますます多様化し、複雑な様相を呈しています。

米国では、トランプ関税で保護主義による金融市場の混乱が予想され、中東情勢の緊迫化で地政学リスクも高まっています。欧州では、利下げや財政政策を通じて現状を乗り切ろうと努力をしているところであります。

しかし、多様な価値観を背景にした各国の利害の調整は困難を極め、時として暗礁に乗り上げ、調停の場さえも確保できないことが多くあります。人類は武力で対立を解決しようとした多くの歴史的経過があります。対立を回避し、乗り越えるための多くの条約や組織が作られました。試行錯誤は現在も、またこれからも続くことでしょう。たゆまぬ不断の努力が必要不可欠です。各国は現在も知恵を深めながら協同して打開を図っているのです。

こうした知恵の源泉は教育であると言っても過言ではありません。多様な価値観の中で共生していくには、若年のうちに個々人の生命に対し畏敬と感謝の念を醸成し、人生の堅固な土台の形成に努めるべきでしょう。子どもたちは学校生活の中で多くの友人たちと交流し親しんで、時としてぶつかり合いながら他者との共生を学んでいきます。この学びが土壌となり、社会性が育まれ、人を支え、協同して物事を進めていく姿勢が深まっていくのです。個々の個性を生かしながら、様々な人々と交流して豊かな人生や社会を築き上げていくところに人生の醍醐味があります。個人としての尊厳を高めるとともに、公共性を有した社会の一員としての自覚を醸成する役割を教育は担っています。個性の伸長を大切にするとともに、社会性を育てることの重要性を忘れてはなりません。個人は社会との相関関係の中で育まれ、鍛え上げられていくのです。

教育者は次世代の育成という極めて重要な使命を有しています。その自覚と責任をひとときも忘れてはなりません。教育者は真摯な姿勢で、この使命に全力で取り組んでいきましょう。

本日の会が充実したものとなり、皆様の今後の教育活動に貢献できれば幸いです。